

中国産健康食品事件

先程から新聞紙上をにぎわしている。口に入れるものだけに有害物質が配合されていれば即被害につながることが明白になった。しかしこれは氷山の一角にすぎない。まず中国産の健康食品や減肥茶のたぐいは過去何回も事故が起きており、特にセン

ナなど認められていない成分が含有していることがほとんどである。中国に限らずアメリカなども同様だ。たとえばだれでも知っている大手の健康食品販売のダイエット食品にはエフェドラという成分が配合されているが、アメリカではこれを服用して100人以上の死者が出ているのに、日本でアームになっている。信じられないことだ。すぐに被害

他人ごとではない

お愛用者の多いダイエット成分ガルシニアカランボジアエキスがそれ。ガルシニアカランボジア 자체はなんの副作用もないスペイス成分なのに、エキスにする際、添加物として炭酸カルシウムを10%前後配合する。この炭酸カルシウムは、摂取しつづけると体内に結石ができることは良く知られていることなので、厚生労働省は食品添加物として1%以上配合

株式会社バイオリンク販売社長
エステティック
アドバイザー 辻 大作

してはいけないことにしているはずなのに、アメリカからの圧力か? (ちなみに世界で唯一ガルシニアカンボジアの完全無添加キス抽出に成功しているのはバイオリンク社だ) 名前は健康食品だが中身は「不健康食品」というのがいかにも多く、またそれらを日常茶飯事的に摂取してしまっている日本人の将来が危ぶまれる。誰を信じたらいいか、なにを信じたらいいかわからぬ世の中だからこそ、プロであるエステティックサロンオーナーやスタッフに正しい知識や情報、本当にいい商品を提供するのが私の使命と考えている。